

課題名： 医薬品費削減を目的とした薬剤師主導 4 介入の効果比較
： バイオシミラー、院内フォーミュラリ、残薬、ポリファーマシー

◆研究の目的と概要◆

当院では、医薬品費削減を目的とした薬剤師主導 4 介入（バイオシミラー、院内フォーミュラリ、残薬調整、ポリファーマシー）の効果比較を調べています。本研究では、医療資源の適正化と持続可能な医療提供体制を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

※バイオシミラーとは、先に使われていたお薬と効果や安全性が同じで、お薬代の負担が軽くなるお薬です。

※院内フォーミュラリとは、病院で安全性や効果を確認して選んだお薬のリストのことです。

※残薬調整とは、ご自宅に余っているお薬を確認し、無駄にならないよう日数を調整することです。

※ポリファーマシーとは、飲むお薬の数が多くて、副作用や飲み間違いが起こりやすい状態のことです。

◆対象となる患者さん◆

2020年5月から、2024年7月までの間に、下記に当てはまる方
バイオ医薬品を使用された方、ランソプラゾール、エソメプラゾール、タケキャブを処方された方、残薬調整を申請された方、入院中に減薬を希望された方

◆研究に使用される情報・試料◆

【バイオシミラー使用促進】

先行バイオ医薬品とバイオシミラーの使用割合・処方量・医薬品費

【院内フォーミュラリ】

院内フォーミュラリ導入前後の対象薬剤の処方量・医薬品費

【残薬調整】

残薬調整により削減された医薬品費

残薬調整を行った患者数

【ポリファーマシー対策】

減薬・中止による薬剤費削減額

減薬・中止となった薬剤数

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年4月17日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 柳原知夏

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明